

芽傷処理後のメリット青塗布によるブドウ「巨峰」の発芽促進						
<p>〔要約〕 ブドウ「巨峰」の結果母枝に芽傷処理し、メリット青 2倍液を塗布すると、発芽日や発芽期が早く、発芽期間も短くなる。また、発芽率は高くなり、新しょうが結果母枝の各節部から発芽し、均一な新しょうを得ることができる。</p>						
長崎県果樹試験場・落葉果樹科	専門	栽培	対象	果樹類	分類	指導
平成7年度 長崎県果樹試験場業務報告						

〔背景・ねらい〕

ブドウ「巨峰」のウイルス無毒樹は結果母枝の先端部から発芽する新しょうの伸長が旺盛であるが、基部からの発芽及び新しょう伸長が悪いといわれている。そこで、結果母枝に芽傷処理及びメリット青 2倍液の塗布処理を行い結果母枝の各基部から発芽させる方法を検討した。

〔成果の内容・特徴〕

- ①芽傷処理、メリット青 2倍液塗布処理とも発芽率を高める効果があり、さらに両者を併用すると発芽率が90%以上となり最も効果的である。
- ②芽傷及びメリット青塗布処理により結果母枝の先端の新しょうが短くなる。特に、果粒肥大期の伸長が抑えられる。
- ③芽傷及びメリット青塗布処理により発芽日及び発芽期が早くなり、発芽期間も短い。
- ④芽傷及びメリット青処理により結果母枝の先端から14芽までに発芽した新しょうの長さが約100cm以上となり、優良な結果母枝の確保できる。
- ⑤これらのことから、ウイルス無毒樹の発芽を促進し、結果母枝各節部から均一に発芽させるには芽傷+メリット青塗布処理を行うと最も効果が高く、次いで芽傷処理の効果が高い。

〔成果の活用面・留意点〕

- ①ウイルス無毒樹に処理する場合はウイルスの再感染を防ぐため芽傷さみやはホルマリン 3%、苛性ソーダ 3%液で 5分以上浸漬消毒するか、専用はさみを使用する。
- ②ブドウ「巨峰」ウイルス無毒樹は新しょう伸長が著しいので有効である。

[具体的データ]

表1 結果母枝の各種処理と結果母枝の発芽率及び新しょう長との関係

処理区	結果母枝			先端 5芽の最長新しょう長				全新しょうの平均長			
	枝長 (cm)	芽数 (個)	発芽率 (%)	開花① 期 (cm)	果粒② 肥大期 (cm)	②-① (cm)	②/① (%)	開花① 期 (cm)	果粒② 肥大期 (cm)	②-① (cm)	②/① (%)
芽傷+メリット	204.7	20.7	92.7	109.0	127.7	18.7	117.2	57.1	69.4	12.3	121.5
芽傷	204.3	21.7	85.4	100.3	116.0	15.7	115.6	34.6	42.3	7.7	122.3
メリット	212.7	21.8	61.6	109.8	147.0	37.2	133.8	18.8	23.3	4.5	123.9
無処理	212.8	21.0	51.6	84.5	137.8	53.3	163.1	12.9	16.7	3.8	129.4

表2 各処理と発芽及び展葉との関係

処理区	発芽日	発芽期間	発芽期*
芽傷+メリット	3.29~4.4	7	4.4
芽傷	3.31~4.6	7	4.7
メリット	3.31~4.7	8	4.7
無処理	4.3~4.14	12	4.10

* 芽傷及びメリット処理時期は平成7年23日
 † 芽の先端が割れ、第1葉の先端が見えた日
 * 20~30の芽に第1葉が見えたとき

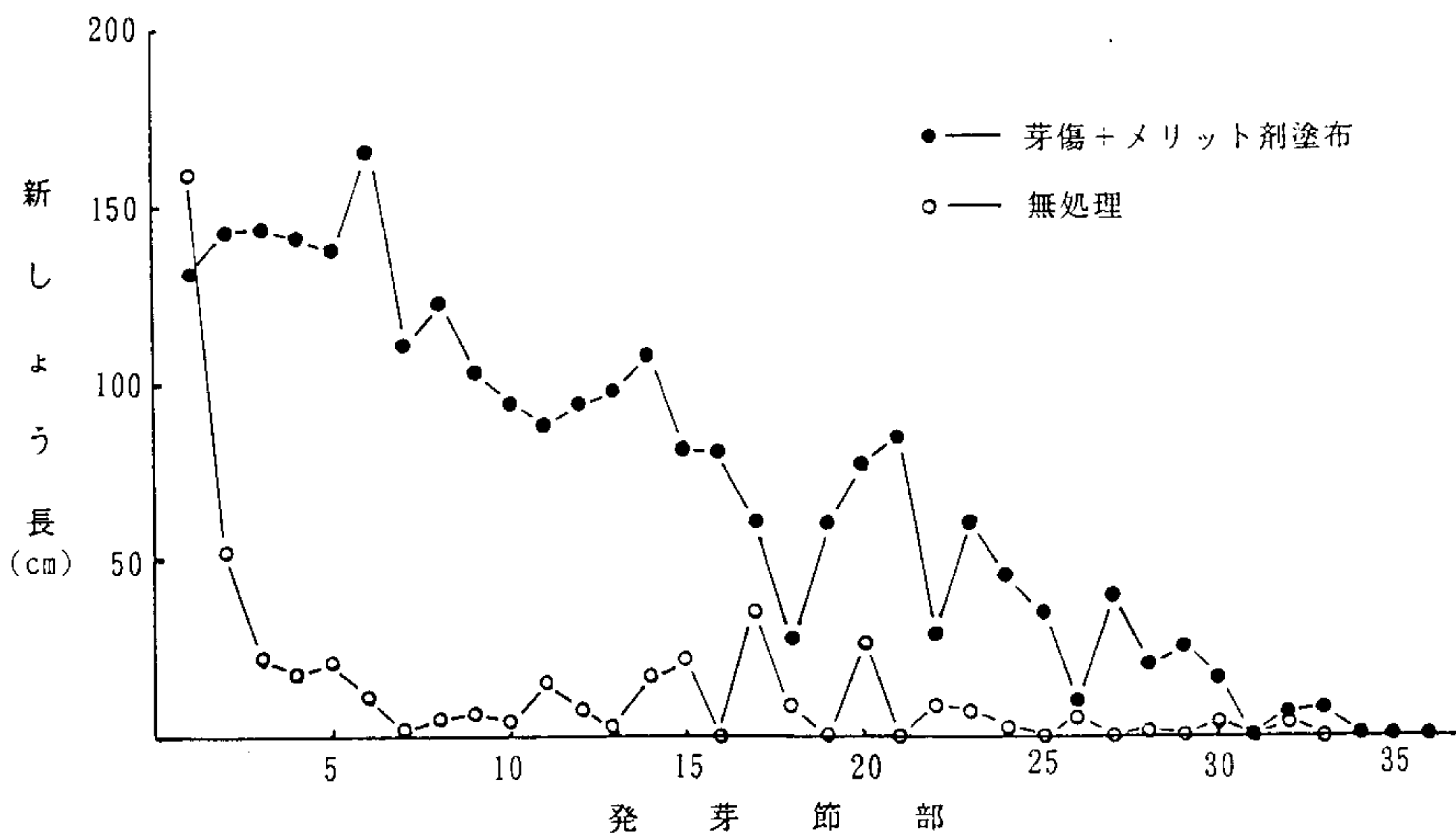


図1 ブドウ巨峰のウイルス無毒樹の結果母枝に対する処理法と結果母枝の節部位別の新しょう伸長との関係

[その他]

研究課題名: ブドウウイルス無毒樹の栽培技術の確立

予算区分: 県単

研究期間: 平成7年度(平成7年~11年)

研究担当者: 森田 昭・林田誠剛

既発表論文等:

残された問題点: 樹勢が強いことを利用した早期成園化法を確立する必要がある。